



社長のひとりごと…

わいわい倶楽部は、当社の大切なお客様の
ために、わたしたち藤本工務店のスタッフが
お伝えさせていただきますコミュニティー
誌です。

『偶然の必然性』

4月27日の午後、あまりの強風に立っているのも困難で思わず近くのケヤキの木につかまり耐えた。家内が”アッ”と声を上げる。事務所横に置いてあるコンテナハウスが強風にあおられ持ち上がり、たまたま近くに止めてあった長男の車を直撃、フロントガラスは割れ、ボディーも歪んでしまった。他人様にご迷惑がかからなかったのが唯一の救いであり、喜ぶことにするが、この日（4月27日）に至るまでの経過が、更に興味深かったので書いてみる事にした。

この日の一週間程前、何を思い立ったのか長男がせっせとコンテナの中を片付け始めた。と言うのも、コンテナは10年ほど前に中古で購入したもので、既に雨漏りがしていた。中には鋼製型枠や道具等がギッシリと入っていたが、カビも生え出したため、3日程かけて中にあるものを作業場に移動したのである。当然の事ながらコンテナは飛躍的に軽くなった。

私は”この日”の前日、知人と県外に車で出ているが、帰り道に車が横転する事故を見た。他人事ではないと気を引き締めていると今度は車がブロック塀にぶつかり炎上し、消防車や野次馬でごった返していた。さすがに二度も続くと嫌な気分になるものである。ともかく、慎重に運転し無事に帰宅できホッとす。そして当日の27日を迎えた訳である。この日のためにせっせとコンテナを軽くし、当日わざわざコンテナ脇に車を止め（普段は誰もコンテナ脇に駐車はしない。）、さらに前日に車が壊れる予告までしてくれて、強風を吹かして頂いた。こう考えると世の中に”偶然”などと言う事は無いのではなかろうか・・・。



ではまた、来月もお逢いしましょう。
今回も最後まで読んでいただき、

あっがしう
ございました!!

